

総合型スポーツクラブ サンビスカス沖縄（沖縄県沖縄市）の事例

～代表とスタッフがフェイスブックで情報発信～

Q：どのような最新メディアを活用していますか？

「総合型スポーツクラブ サンビスカス沖縄（以下、サンビスカス沖縄）」の広報で、メインとなるものはホームページです。そのホームページは、見やすいレイアウトにすることや検索しやすい言葉（例えば、「沖縄」や「スポーツ」等）を更新する際に意識的に記事に入れるなどして、アクセスが増えるように工夫しています。

ホームページには、クラブの理念や活動内容、動画集などを掲載しています。活動の日々を綴ったブログもあり、ホームページやブログを見ればクラブの活動が全てわかるようにしており、まさしくクラブの「顔」です。

そのホームページを見てもらうためには、アクセスするきっかけが必要です。そこで活躍しているのがSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）です。



Q：どのような方法で何をしていますか？

クラブの代表を務める宮城哲郎さんをはじめ、スタッフのほとんどがフェイスブックを使ってクラブで開催した教室や大会等を公開しています。フェイスブックを通して多くの方にクラブの活動を知ってもらえることができると同時に、そこからホームページへのアクセスへと繋がっています。

Q：どのような効果が得られていますか？

宮城さん曰く、「フェイスブックはクラブの紹介だけでなくプライベートでも活用しているので、クラブの広報戦略として明確に位置づけているわけではありませんが、フェイスブックを通してクラブの活動を知ってもらえるきっかけになっています。

さらには実名で行っていることで、スタッフの人間性も伝わるコミュニケーションツールとして様々な出会いもあります」と、その効果を実感しています。



Q：これから活用しようというクラブへのアドバイス

無料で簡単に使うことができる SNS の効果は、やってみて実感できるものです。ほとんどのクラブが今でもたくさんのチラシやパンフレット、そしてホームページ等で広報を行っていると思いますが、それらの広報は目的や対象者によって上手く選択していく必要があります。

フェイスブックのユーザーは、全国で 1 千万人を越え、世界では約 9 億人が使用しています。それだけ多くのユーザーがいるネットワークを活かさない手はありません。まずは始めてみてから、活用するかどうか考えてみてはどうでしょうか。

最後に、宮城さんからの伝言です。「友達申請待ってます ^^」

(慶田花英太 沖縄県クラブ育成アドバイザー)

【総合型スポーツクラブ サンビスカス沖縄 プロフィール】

- 1. 設 立** 年月日：平成 23 年 3 月 21 日
経緯：代表の宮城氏は、沖縄で J リーグを目指す「FC 琉球」に約 5 年間在籍。その後、ブラジルのプロチームで 1 シーズン、プレーして帰国後、ブラジルで見たクラブを沖縄でもできないか考え、設立に向けて動いた。
- 2. 地 域** 人口：沖縄市 131,405 人（平成 24 年 1 月現在）
特性：さまざまな地域・国籍の人たちが住んでいる独特な文化の街。
- 3. 運 営** 会員数：約 70 名（平成 24 年 1 月現在）、スポーツ教室等参加者延べ 4,500 名
予算：約 800 万円（平成 24 年度）
- 4. 特 徴** サッカーが柱のクラブだが、行政の様々な部署と連携している。「保育園巡回指導」も高い評価を受けている。
- 5. 連絡先** 〒904-2172 沖縄県沖縄市泡瀬 1-15-60 シーサイド泡瀬 101
TEL/FAX：098-989-4695
Email：sunbiscusokinawa@yahoo.co.jp
URL：<http://www.sunbiscusokinawa.com/index.php>

関連リンク：慶田花英太氏プロフィール

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/506/Default.aspx>